

研究課題名	副作用の観点から見たパルボシクリブとアベマシクリブの使い分けに関する検討
研究の意義・目的	乳がん治療に使われるパルボシクリブとアベマシクリブは同様の効果をもつ薬ですが、2つの薬の使い分けの指標はありません。それぞれの薬で副作用が起きる可能性が高い患者様の特徴を明らかにする目的で本研究を行います。本研究の結果により、どのような患者様でパルボシクリブまたはアベマシクリブの副作用が起こる可能性が高いかが明らかになれば、患者様の背景に応じて副作用が起こる可能性の低い薬を選ぶことができ、QOLを維持して治療を行うことができ有益であると考えます。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2022年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2018年4月1日～2021年4月30日の期間に大阪市立大学医学部附属病院 乳腺・内分泌外科で乳がん治療のためパルボシクリブ又はアベマシクリブが開始された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、身体情報、既往歴、検査データ、薬剤情報、診療記録】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学医学部附属病院 薬剤部 中務ひとみ
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学医学部附属病院 薬剤部 中務ひとみ 電話番号：06-6645-2277